

中央大学文学部・八王子市図書館 共同研究報告会(令和3～5年度協定分)記録

1 中央大学と八王子市の共同研究

平成 29 年（2017 年）4 月に八王子市は、中央大学と「包括連携協定」を締結しました。

この協定に基づき、中央大学文学部社会情報学専攻の研究チーム（代表者：教授・小山憲司）と八王子市図書館は、平成 29 年度（2017 年度）より、共同研究を実施しており、令和 3 年度からは、共同研究協定書を一部改定し、八王子市における図書館整備及び読書環境等に関する調査・データ分析・検証作業等を通じ、その向上を図ることを目的に、「八王子市における図書館整備及び読書環境等の向上に関する研究」と題した共同研究を実施しています。

2 報告会の開催

日時……令和 6 年 11 月 1 日（金）17 時 30 分～

場所……八王子市中央図書館

参加者…22 名



3 発表内容

①「図書館利用実態の可視化と分析（2022 年度版）」

中央大学国際情報学部

飯尾 淳 教授

②「八王子市中央図書館 10 代向けフリースペースの企画と実践」

中央大学文学部 小山 憲司 教授

4 寄せられた意見(一部)

【①について】

- ・図書館の立地と、利用状況を関連付けて分析することに興味を感じた。
- ・客観的なデータを読むことで先入観や誤解をなくし、利用状況を正しく理解することができると思った。

【②について】

・この夏自習スペースが無いという夏休みに、危機的状況だったため、BI でフリースペースがあったのは良かったと思い、7～8 月全部でも良かったと思いましたが、このように考えられていた（色々準備されていた）とはあまり知りませんでした。

・発表のなかにもありましたが、リスク管理は大きな課題だと思います。誰でも入れる施設に対象を限ったスペースを作る難しさを感じます。

【報告会について】

- ・報告会自体がワークショップ的な形式になったらさらに面白そう、と感じました。
- ・パークライブラリもそうですが、職員の皆様の図書館をもっと知ってもらいたい、利用してもらいたいという意気込みを感じます。